

	1 年	2 年	3 年
目 標	<p>1 自己を見つめるとともに主体的に将来を考え、幅広い学力を身につけさせる。</p> <p>2 グローバルな視野をもち、職業と学部・学科の関係や大学で学ぶ内容を理解することによって、希望する進路を明確にする。</p>	<p>1 将来設計を作成する中で、進路に関する情報活用能力を身につけさせ、生徒の自己実現を目指す。</p> <p>2 学部・学科研究を通して志望大学の決定に導く。</p>	<p>1 将来の希望に応じた進学を実現すべく、学力を向上させる。</p> <p>2 志望大学・志望学部学科について理解を深め、意志を強く持ち、目標に向けて努力する。</p>
方 法	<p>○読書や新聞により知識を広げたり、物事を深く考えたりする経験を重ね、論理的思考力を高めさせる。一方、定期考査をはじめ校内模試や実力テストを通して、自己の学力を分析させ、効率的な学習を進めさせる。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を通して、生徒の資質・能力を伸長させ、土曜講習や夏期講習等で具体的な進路実現のために自ら学ぶ姿勢をもたせる。</p> <p>○面談や進路資料を通して、自分の将来像を描かせ、それに合わせた具体的な準備をしていくことによって、自分自身や社会を理解する端緒にさせる。</p> <p>○面談(年4回)を通して、自分の夢や希望を見つめさせ、自己確認を繰り返させることによって、進路の確立に導く。</p> <p>○進路通信や講演会を通して進路情報を適宜提供し、生徒が主体的に進路を切り開いていくための支援をする。</p> <p>○探究活動やさまざまなイベントへの参加を促し、さらに将来像の具体化や学部学科の理解を促す。</p>	<p>○学力向上に向け、定期考査・校内模試・外部模試等に積極的に取り組むよう、事前の動機付けを、学級活動・面談・進路通信等で行なう。</p> <p>○協働して学ぶ姿勢を通して、学習する内容を実社会や日常生活と関連させて考察する姿勢を育み、学びの質を高めさせる。</p> <p>○進路講演会やセミナーを通して将来設計や進路実現を支援する。</p> <p>○夏休みの過ごし方、夏期講習の活用方法の事前指導を通して、将来設計や自己実現に応じた志望大学・志望学部の決定を促す。</p> <p>○各大学で実施されるオープンキャンパスへの参加を促し、生徒各自が行なう、大学・学部・学科、入試科目等の調査・検討を支援する。</p> <p>○個人面談、三者面談を通して、3年次の選択科目の決定、志望大学の決定、受験科目等の決定に至る指導・助言を行なう。</p>	<p>○各教科の大学入試問題の研究とともに、定期試験・実力テスト・校内模試・外部模試の結果に基づいた、生徒の志望・個性に合わせた指導を行なう。</p> <p>○協働学習を深化させることにより、将来どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかについて考えさせ、具体的な進路決定、そしてその実現のための方策を考えさせる。</p> <p>○進路調査や模擬試験、面談を通して生徒の志望分野や志望大学を把握し、自分の進路を切り拓いていく意志を支え、第一志望がかなえられるように指導する。</p> <p>○個人面談、三者面談を通して生徒の受験校を把握し、偏差値に頼らず、生徒個人の志望・適性に合わせた指導を行なう。</p> <p>○進路通信・学年集会・総合的な学習の時間を通して、進学情報を学年全体にきめ細かく伝えていく。</p> <p>○担任と教科担当で情報を共有し、志を高く、諦めない取り組みを促し、生徒の自己実現に向けて最大限の支援を行う。</p>